

丘 珠 高 だ よ り

PTA広報委員会発行
第131号



本気スイッチ
校長 能 登 啓 児

今振り返ってみても「何故あんなことが出来たのだろうか」と不思議に思う。

四十年ほど前の夏、高校生活最後の学校祭。当時の高校生にとっても学校祭は特別なもので、三年生ともなると並々ならぬ思いをもっていった。数日にわたるクラスでの話し合いの結果、ステージ発表で、あるおとき話をお笑い劇にすることとなった。自分が脚本・監督を担当し、準備は順調に進んだ。

ところが学校祭直前になって二年生のあるクラスが爆笑劇を作り上げていることを知る。「絶対に負けられない」「クラスの想いは一緒だった。夜遅くまでの話し合いの中、誰かが言い出した、「ミュージカルにするべ」。「そんなの無理だ」、期間はずか二日間。しかし高校生のパワーは底知れない。見事、笑いあり涙ありの感動ミュージカルに作り替

えた。結果はもちろん優勝。発表後のステージ下を見ると、担任の涙を拭う姿を今でも覚えている。どこにあんなパワーやエネルギーがあったのだろうか。

教員という仕事に就き、高校生が「本気」になったとき、予測もできない力を発揮する姿を何度も目にしてきた。自分のときと同じように行事で、部活動の大会での番狂わせ、皆に絶対に無理と言われていた志望校に合格・・・思わぬ力を発揮することができるとは、青年期に秘めた能力であり特権でもある。

ただ、その原動力である「本気スイッチ」の入れ方は極めて難しい。しかし、誰もがそのスイッチを持っていることは確かだ。若者の持つ可能性はやはり無限大なのだと思える。何でも良い、「絶対こつなりたい」と思えることに対して、自分の可能性を過小評価せず、勝手に限界を決

めず、本気スイッチを作動させてもらいたい。

卒業生の皆さん、進級する在校生の皆さんも「こそぞ」というときの「本気の力」を見せてください。

私ごとですが、三月末をもって校長の任を終えることとなります。保護者の皆さまには、これまでの支援に感謝申しあげるとともに、卒業生並びに在校生の今後の活躍を心よりお祈りしております。今後も丘珠高校に熱いエールをいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



卒業に寄せて

PTA会長 辻 佳代子

ご卒業おめでとございます。

三年前、コロナ禍が明け、マスクを外し少し戸惑いながらも、前を向いて入学式に参列した皆さんの緊張した面持ちを、しっかりと覚えています。

丘珠高校で過ごした三年間で、嬉しかったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、出会いや別れ、様々

なことがあったかと思えます。その一つ一つが、これからの皆さんの人生の糧となっていくことでしょう。これからそれぞれが旅立つ新しい環境は、今まで出会わなかった経験の連続かもしれません。時には逃げ出したくなることもあるかもしれませんが、そんな時は、少し休憩して、ゆっくりと深呼吸。それからまた一歩踏み出してくださいね。

自分一人の力では乗り越えられないことにも、皆さんの背中を押してくれる仲間がいるはずですよ。誰かの力を借りたときには遠慮なく助けを求め、力が充実しているときには必要なら人に手を差し伸べられる人になってください。

保護者の皆様、今年度もPTA・後援活動にご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

能登校長先生、教職員の皆様、PTA役員の皆様、そしてこの丘珠高だより発行にあたりご協力いただきました全員の皆様、厚く御礼申し上げます。





頑張れ! 丘珠高校卒業生!

3年1組担任 佐藤 貴之

49期生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、3年間のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

この3年間を振り返り、みんな本当に大人になったと感じています。そして、3年生になってからの1年は早かったです。きつと充実した時間を送ることができたからだと思います。ありがとうございます。

丘珠高校3年間で学んだことは何ですか?と、問われ、なんて答える?

部活動や学校行事を通して身につけた力は何ですか?と、問われ、なんて答える?

机の上での勉強より、その答えがきくとこれからの人生で大切なことなんだと思う。

高校3年間という厳しい修行期間を終え、世の中に出て行く君たち。不安なことたくさんあると思うけど、楽しいことがいっぱいあるこれからの未来。修行期間に大切にしてきたことを忘れず、人生を謳歌してください。

最後に、みんなより33年先に生まれた私佐藤からのメッセージ。

人生は「運」と「縁」と「恩」。運を呼び込むよつな生活を送り、人との縁を大切にしながら、恩は忘れずに返す。

そしてその上にあるものは? 卒業おめでとう。これから楽しいことがたくさんあります。待っているよ。

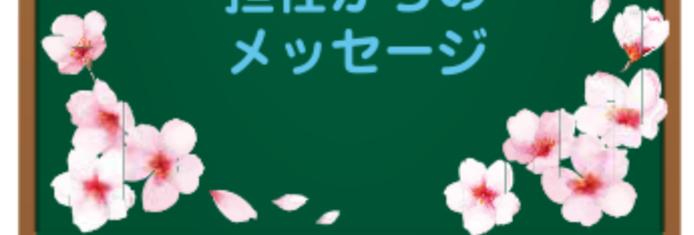
がんばれ! 丘珠高校卒業生! 一生応援していますよ。



49期生

卒業 おめでとう

担任からの メッセージ



3年5組ファースト

3年5組担任 村上 祐樹

保護者の皆様、この度はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。

また、3年間にわたり本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

タイトルにある「3年5組ファースト」という言葉の通り、私自身、3年5組の担任として、生徒たちを第一に考えながら日々の指導にあたっていました。中でも、他者への思いやりや敬意の大切さについては、折に触れて繰り返し伝えてきたつもりです。3年生となり、生徒たちはそれぞれが自己の成長に向けて主体的に取り組み、周囲との関わり方も一層上手になりました。担任として、その姿を間近で見守ることができた

ことは、大変充実した、かけがえない時間でした。

卒業後は、それぞれが新たな環境に身を置き、新しい出会いの中で自分自身の人生を築いていくこととなります。どうか高校生活3年間で積み重ねてきた経験と自分を信じ、自信を持ってそれぞれの道を歩んでほしいと願っています。

最後になりますが、私にとってもこの3年間は本当に幸せで、美り多い時間でした。生徒たち、そして保護者の皆様に支えられながら過ごすことができたこと、深く感謝しております。短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。



卒業おめでとう ございます

3年4組担任 岡崎 太一

本日は、お子さまのご卒業、誠にありがとうございます。担任として2年間という限られた時間ではありましたが、大切なお子さまをお預かりし、ともに過ごすことができたことを、心より感謝申し上げます。

高校生活の中で、生徒たちは学習面だけでなく、人間関係や進路選択など、さまざまな場面で悩み、立ち止まりながら、一歩ずつ前に進んできました。時には思うようにいかず、不安を抱える姿も見られましたが、その都度、ご家庭での温かい支えがあったからこそ、今日の日を迎えることができたのだと感じています。

本日卒業を迎えた生徒たちは、それぞれ新たな道へと進みます。「二期会」という言葉があるように、これからの人生に

おいて、二つ三つの出会いを大切にしたいと願っています。

世の中には思い通りにいかないことや、しんどい感じることもあつてしまう。しかし、人と関わり合う中で学び、心も多々、さまざまな経験が自分を成長させてくれるはずです。

新しい環境の中で自分を磨きながら、困ったときには周囲に助けを求め、また支え合える存在となつてほしいと思います。地道な取り組みを大切にしながら、それぞれの場所で活躍されることを心より願っております。

結びに、卒業生の皆さんの前途が明るく美り多いものとなりますこと、そして保護者の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、担任からのお祝いの言葉といたします。



卒業によせて

3年3組担任 上村 恵理

「卒業おめでとうございませう。今日という日を無事に迎えられること、心よりお祝い申し上げます。保護者の皆様におかれましては、本日まで生徒たちを一番近くで支え続けてこられたこと、担任として心より敬意と感謝を申し上げます。本日に、お疲れ様でした。3年前、まだ幼さの残る顔で入学してきた生徒たちが、今こうして大人びた姿で座っているのを見ると、胸が熱くなります。学業をはじめ、生活態度、部活動、友人関係、スマホの使い方、そして何といっても進路をどうするか・・・、ご家族で悩まれた夜もあった

ことでしょうか。保護者の皆様はこの3年間も、生徒たちに負けないほど濃密で、様々な想いが詰まった日々だったことと思います。今こうして卒業式を迎え、担任としても感無量の気持ちです。本日、生徒たちが手にする卒業証書は、本人の努力の結果であると同時に、ご家族による惜しみない愛情とサポートの証でもあります。明日からは、お子様が自分で選びとった新しい場所へ、試行錯誤しながらも自分らしく輝いてくれると信じています。3年間、本日にありがとうござい



これからも成長を

3年2組担任 柳谷 貴之

保護者の皆様、卒業おめでとうございませう。これまで生徒たちは日々の学校生活を通して、多くの経験を積み重ね、大きく成長することができました。わからないこと、できないこと、気が付かないことが様々な取り組みを通していく中で少しずつ、かつ着実に歩みを進めることが出来たのは、常にご家庭での見守りや励まし、そして本校の教育方針へのご理解とご支援があったことを強く実感しております。3年2組は個性的で、それぞれの色を持ったクラスでした。寄り添いながら、時には厳しい対応をすることもありました。いつもクラスに伝え

てきたのは、厳しいことを言っても、嫌いだとは絶対思っていない、大事としか思っていないというところでした。成長して欲しい、進路を自分で切り開いてほしい、自分の人生を楽しんでほしい。その一心でした。3年生になってからは、自分で考え、行動する姿を見てきました。3年間で子ども達は大きく成長するものだと毎回卒業のシーズンを迎えると感じます。今後、卒業生たちはそれぞれの進路へと歩みを進めてまいります。本校で培った経験や学びを糧に、社会の中で自らの力を発揮してくれることを心より願っております。



前途有望

3年7組担任 末次 良平

「卒業おめでとうございませう。今日の良き日を迎えるにあたり、まずは保護者の皆様へ深く感謝申し上げます。日頃からの学校教育へのご理解とご協力、またPTA活動へのお力添えをいただき、本日に多くの方々を支えられて担任業務が成り立ったと実感しております。この3年7組というクラスからは、私自身がたくさんのおもしろい思い出をもらいました。成績や授業態度、出席状況が優秀であることはもちろんですが、何より「心の優しいクラス」であったことに、担任として日々助けられました。個々の成長はもちろん、集団としての立ち振る舞いを自主的に判断し、行動できる人材

に育ってくれたことは私の自慢です。学校生活を心奪った機会が少なかつたですが、生徒たちは立派に多くのことを身につけ、今日を迎えています。一人ひとりの将来に対して、今、心配よりも期待のほうが大きく膨らんでいます。最後に、3年7組のみならず、第49期生のみならず、卒業おめでとう。これからも、たくさんのお力を吸収して成長し続けてください。そして、今まで当たり前のことを当たり前のようにつけてくれたご家族に、感謝を伝えましょ。私も保護者の皆様、地域の方々、学校関係者に支えられ、とても充実した幸せな3年間を過ごすことができます。何よりも感謝しています。



ご卒業おめでとうございます

3年6組担任 阿部 政行

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございませう。これまでの道のりは、「苦勞の連続であった」と思います。ご家族の支えのもと、生徒達は共に協力し、苦勞し、挫折を経験しながらも、力強く成長しました。この3年間多大なご理解、ご協力をいただき、本日にありがとうございませう。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。いよいよ出航です。勇気を持って、一歩前へ進み、「希望」という船に、一人乗船する日が来ました。これからは単独で社会という「荒海」に向かいます。これからの人生、しんどいこと、辛いこと、面倒なことを一つづつ生きていくのは「案

(らく)ですが、それでは本当の人生の「楽しさ(生き甲斐)」を得ることはできません。自分には無理かな?という壁に挑んでみて、乗り越えられたとき、あるいは、壁に叩きつけられて、ちがき苦しむ、挫折したときにこそ、「本当の自分」がみえてきます。そして、「真の理解者」も現れます。ただし、卒業はしても、皆さんは決して「孤独」ではありません。札幌丘珠で苦勞を共にし、学んだ仲間も一緒に大海に挑み続けています。風に向かて顔を上げ、帆を広げ、自由に大空を翔るがごとく、永遠に「心の支え」であろう仲間と共に、荒波を乗り越えていきます。一歩前進です。

宿泊研修 // 第49期生 // 思い出の日々



マラソン大会



体育大会



令和7年度 2学年見学旅行報告

2学年主任 児玉 春彦

2学年は見学旅行に12月6日(土)から9日(火)、3泊4日の日程で沖縄に行ってきました。

本校は見学旅行で沖縄に行くことになり、3年目となります。今年度の大きな行事となりましたので、年度当初より色々と準備に取り組みました。事前学習では沖縄の歴史と平和学習から始まり、昨年度に引き続き、沖縄県立本部高校とのオンライン交流、沖縄の事前学習発表会、自主研修計画立案など、およそ3ヶ月前から、「総合的な探究の時間」やLHRの時間を使い準備を行い、出発しました。

【1日目】

新千歳空港に朝8時30分の集合でした。遅刻する生徒も無く、時間通りに出発することができました。飛行機は羽田空港を経由して、那覇空港に到着しました。初めて飛行機に乗る生徒も多く、少し緊張している様子も見られました。那覇到着時には温かい空気に北海道との違いを実感している様子もつかげました。



した。那覇到着後直ちに夕食を兼ねて自主研修に出発しました。多くの生徒は国際通りに行きましたが、札幌とは違った賑やかさに圧倒されたという感想が聞かれました。日没後の活動でしたが、事故に遭遇したり怪我をしたという生徒もいなく、初日を思う存分楽しむことができました。

【2日目】

この日の日程は、本部町や恩納村といった沖縄の北部に移動し、午前中に美ら海水族館見学、午後からは体験学習です。今年度は、2学年揃っての美ら海水族館見学でした。美ら海水族館は沖縄の海辺から順に沖に移動する形で展示が行われ、最後は深海の魚が展示されています。やはりメイン水槽は巨大なジンベイサメとマンタが泳ぐ水槽で、皆が圧倒されていました。午後の体験学習では、今年度は「マリンスポーツ体験」、「やんばるシーカヤック体験」、「古宇利島オーシャンタワー見学」のいずれかから選択する形で実施されました。マリンスポーツ体験のシュノーケリングでは北海道の海では絶対に味わうことができない海中の美しさに、多くの生徒が感動していました。また、「やんばるシーカヤック体験」では、珍しいウミハヒなどの沖



縄特有の生き物を見ることができたなど、とても大きな感動のなか学習をすることができました。この日のホテルは恩納村にある超高級リゾートホテルで、部屋から眺めることができるビーチが美しく、ここでも沖縄を満喫することができました。

【3日目】

この日の午前中は平和学習でした。ひめゆり平和祈念資料館と糸数アフリカガマ見学でした。何れも沖縄の南部にあり、2次大戦での沖縄戦における激戦地の訪問です。特に糸数アフリカガマは、軍司令部や病院、住民の生活場所として実際に使われた地下の洞窟で、地元の専属ガイドさんについていただき、見学を行いました。洞窟内は戦争当時のままで、まるで80年前にタイムスリップしたような印象を受けます。生徒の皆さんは真剣にガイドさんの話に聞き入っていました。ほとんどの人が初めて得た体験では無かったかと思えます。普段は意識することが少ない貴重な体験をすることができました。午後は「おきなわワールド」です。おきなわワールドは、もともと「玉泉洞」という観光名所の鍾乳洞がある場所に建てられた施設です。午前中のアフリカガマとは対照的に、ここでは自

【4日目】

この日は恩納村から那覇市まで移動するので、朝7時30分にホテルを出発しなければなりませんでしたが、時間より早めに行動することができ、余裕をもってバスに乗り込むことができました。最後は沖縄の名所、首里城を見学し帰路につきました。

幸い4日間とも曇天とまでは行きませんでした。天候にも恵まれ、生徒たちはたくさん思い出とたくさんのお土産を持ち帰ることができました。心に残る思い出をつくることができました。心に残る思い出をおかけたと感じております。心よりの感謝申し上げます。今後は、進路希望の実現に向けて気持ちを切り替えて取り組もうと考えております。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

然が作り出した鍾乳洞の美しさを実感することができました。この日のホテルは、2日目とは違う、恩納村のホテルです。夕食後、「三線ライブ」を聴きました。生徒の皆さんも参加する中、沖縄独自の音楽に触れることができました。沖縄最後の夜、非常に盛り上がり、良い思い出ができました。

PTA 視察研修を終えて

PTA 研修委員長 中 知幸

10月2日、晴天のもと、丘珠高校PTA 18名で研修旅行を実施しました。午前中に丘珠高校へ集合し、バスで新千歳空港へ向かいました。空港到着後は約2時間の自由行動となり、思い思いの時間を過ごしました。

再集合後、バスでサケのふるさと千歳水族館へ移動しました。水族館ではバックヤードツアーに参加し、普段は見ることのできない裏側を見学しました。館内で使用している水の循環管理の仕組みや生き物への餌やりについて、職員の方から丁寧な説明を受け、水族館運営の工夫や苦労について理解を深めることができました。

その後は館内および併設の道の駅サーモンパーク千歳を自由に見学しました。地元の特産品や土産品を手取る姿も多く見られ、和やかな時間となりました。見学後はドレモルタオへ移動しました。

買い物の後、席に案内されて事前に申し込んでいたランチをいただきましたが申込日から時間が経っていたため、自分が選んだメニューを忘れてしまう方が続出し、会場は笑いに包まれました。

最後にバスで丘珠高校へ戻り、無事に解散いたしました。天候にも恵まれ、親睦と学びを深める有意義な一日となりました。



マラソン大会のお手伝いを終えて

PTA 行事副委員長 坂野 夏美

今年度のマラソン大会は水曜日に予定されておりましたが、金曜日へ延期となりました。開催を心配する気持ちもありましたが、当日は天候にも恵まれ、生徒たちがそれぞれの目標に向かい真剣に走る姿を見ることができ安堵いたしました。

私はゴール後にスポーツドリンクをお渡しする係を担当いたしました。走り終えた生徒たちの達成感に満ちた表情や、互いに声を掛け合う様子が印象に残っております。疲れている中でもお礼を伝えてくれた事がとても嬉しかったです。

三年生の保護者として、三年間の歩みを振り返る貴重な機会となりました。ご協力くださった皆様により感謝申し上げます。



韓国留学報告

三工業高校の紹介や授業体験について

3年5組 玉井 凛

私は今回の国際交流で、日本とは異なる学校生活を体験した。

三工業高校は韓国・水原市にあり、世界遺産である水原華城の近くに位置している。1902年5月7日に開校し、今年で123年を迎える歴史ある学校である。日本とは異なり、高校から専門的に学べる学校が工業高校とされており、三工業高校にはロボット設計科や3D融合コンテンツ科、警察学科など10の学科がある。生徒数は948人、職員数は103人で、生徒数だけでなく職員数の多さにも驚いた。校舎はA棟からH棟までの8棟に分かれており、敷地も広いので、教室移動が大変だと現地の生徒が話していた。

韓国の学校は1単位50分、6時間授業という点は日本と同じだが、違いもある。1つ目は給食で、韓国では無償化されており、学年ごとに時間を分けて食事をしている。2つ目は放課後で、日本では自由な時間が多いのに対し、韓国では夜10時頃まで夜間自立学習を行う。

9月23日から30日にかけて、英語、日本語、音楽、体育の授業を体験した。生徒同士で教え合う授業や、タブレット端末を活用した学習が印象的だった。

今回の交流を通して、日本と韓国の学校生活の違いを実感した。この経験から学んだことを将来に生かしていきたいと感じた。



高体連・高文連 活動報告

【男子バスケットボール部】

全国高等学校バスケットボール選手権大会
札幌地区予選会
札幌丘珠 47 - 88 石狩南
札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会
札幌丘珠 50 - 102 札幌啓北
札幌丘珠 32 - 143 大麻
札幌丘珠 88 - 64 札幌北斗
札幌丘珠 45 - 79 札幌第一

【女子バスケットボール部】

北海道高等学校バスケットボール選手権大会
兼全国高等学校バスケットボール選手権大会
札幌地区予選会
札幌丘珠 56 - 107 江別
札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会
札幌丘珠 44 - 147 北海
札幌丘珠 50 - 51 札幌手稲
札幌丘珠 91 - 69 札幌南
札幌丘珠 50 - 84 札幌西

【男子バレーボール部】

全日本バレーボール高等学校選手権大会
北海道代表決定戦札幌地区予選会
子選シ 札幌丘珠 2-1 札幌白石
札幌丘珠 2-0 札幌北陵
決勝T 札幌丘珠 1-2 札幌啓成 ※ベスト16
江別・千歳・札幌地区高校バレーボール新人戦
札幌丘珠 2-0 札幌西
札幌丘珠 0-2 恵庭南
北海道高等学校バレーボール新人大会札幌地区予選会
子選シ 札幌丘珠 2-1 札幌北
決勝T 札幌丘珠 2-1 札幌平岡
札幌丘珠 1-2 札幌英藍 ※ベスト16

【女子バレーボール部】

全日本バレーボール高等学校選手権大会
北海道代表決定戦札幌地区予選会
札幌丘珠 0-2 札幌北
札幌丘珠 0-2 札幌英藍
江別・千歳・札幌地区高校バレーボール新人戦
札幌丘珠 0-2 北海
札幌丘珠 0-2 石狩翔陽
札幌丘珠 0-2 札幌創成
札幌丘珠 0-2 札幌北陵

【男子ハンドボール部】

札幌市民大会ハンドボール競技
札幌丘珠 20-55 札幌南
札幌丘珠 14-31 札幌手稲
札幌丘珠 10-59 札幌静修
札幌支部高等学校ハンドボール新人大会
札幌丘珠 58-61 石狩南
札幌丘珠 32-42 札幌手稲

【女子ハンドボール部】

札幌市民大会ハンドボール競技
札幌丘珠 7-23 札幌北陵
札幌丘珠 9-28 札幌静修
札幌支部高等学校ハンドボール新人大会
札幌丘珠 29-30 札幌手稲
札幌丘珠 31-27 札幌南陵・真栄・琴工
札幌丘珠 19-30 札幌新川

【サッカー部】

高門宮杯FA U-18サッカー2025北海道
ブロックリーグ札幌4部
第12節 札幌丘珠 3-2 札幌月寒

【男子バドミントン部】

札幌地区バドミントン協会会長杯大会
個人D① 草島・白井 1-2 札幌北
飯田・酒井 2-0 札幌南陵
個人D② 飯田・酒井 0-2 札幌西陵
個人S② 草島 2-0 札幌南陵
加藤 0-W 札幌平岡
個人S③ 草島 2-0 札幌大谷
個人S④ 草島 0-2 北海
札幌地区秋季高校バドミントン大会(1年生大会)
個人D① 飯田・酒井 2-0 北星大付属
相馬・大村 0-2 札幌東
原田・宮腰 2-0 北広島西

個人D② 飯田・酒井 0-2 札幌清田
原田・宮腰 2-1 北海学園札幌

個人D③ 原田・宮腰 0-2 札幌啓成

個人S① 酒井 2-1 札幌白石
土門 2-1 札幌平岡

個人S② 大村 0-2 札幌白石
飯田 2-0 千歳
松崎 0-2 札幌東

宮腰 2-0 立命館慶祥
相馬 2-1 札幌月寒

酒井 2-0 札幌厚別
原田 2-1 札幌新陽

土門 2-1 千歳
個人S③ 飯田 0-2 北海学園札幌
相馬 1-2 札幌平岡

宮腰 2-0 札幌平岡
酒井 2-0 札幌日大

原田 0-2 千歳
土門 0-2 札幌厚別

個人S④ 宮腰 0-2 北星大付属
酒井 1-2 札幌平岸

札幌地区秋季高校バドミントン大会(団体戦)
団体① 札幌丘珠 2-3 立命館慶祥
団体② 札幌丘珠 2-3 札幌厚別

団体③ 札幌丘珠 0-3 札幌平岸
団体(7位決定戦) 札幌丘珠 3-0 札幌新陽

【女子バドミントン部】

江別地区高校バドミントン選手権

個人D① 新山・村瀬 0-2 東海大付属
個人S① 新山 2-0 札幌啓成
加藤 2-0 札幌月寒

個人S② 新山 不戦勝 立命館慶祥
村瀬 2-0 札幌清田
加藤 2-0 札幌清田

個人S③ 新山 0-2 札幌清田
村瀬 2-0 札幌英藍
加藤 2-0 札幌啓成

個人S④ 村瀬 0-2 札幌英藍
加藤 2-1 札幌月寒

個人S準々決勝 加藤 0-2 札幌英藍
札幌地区秋季高校バドミントン大会

個人D① 橋本・小林 0-2 札幌白石
加藤・甲斐 2-1 札幌東陵

個人D② 新山・村瀬 0-2 札幌西陵
加藤・甲斐 0-2 恵庭南

個人S① 小林 0-2 札幌第一
橋本 0-2 札幌東商業

個人S② 甲斐 不戦勝 札幌東陵
村瀬 1-0 札幌藻岩

個人S③ 甲斐 0-2 札幌平岸
村瀬 0-1 札幌清田

団体① 札幌丘珠 2-3 野幌
団体② 札幌丘珠 0-3 札幌平岸

団体③ 札幌丘珠 0-3 札幌東陵
団体④ 札幌丘珠 0-3 札幌啓成

【テニス部】

札幌支部高等学校秋季大会

女子シングルス 岡田 0-6 学園札幌
女子ダブルス 石田 0-6 札幌稲妻

女子シングルス 岡田・石田 0-6 藤女子

【ソフトテニス部】

札幌市民スポーツ大会

男子ダブルス
藤原・太田 1回戦 北広島 勝
2回戦 札幌啓成 勝
3回戦 とわの森 負

宮下・高井 1回戦 札幌啓成 勝
2回戦 札幌平岡 負

佐藤・野口 1回戦 札幌東陵 勝
2回戦 札幌白石 勝

齋藤・庭山 1回戦 札幌静修 勝
2回戦 札幌北陵 負

女子ダブルス
小林・荒岡 1回戦 札幌平岡 勝
2回戦 札幌大谷 負

千葉・今野 1回戦 札幌啓成 負
伊藤・花輪(東陵) 1回戦 札幌丘珠 負

札幌高校インドアソフトテニス大会
男子ダブルス
札幌丘珠(藤原・太田) 1回戦 札幌旭丘 勝

2回戦 とわの森 負

札幌丘珠(佐藤・野口) 1回戦 江別 勝

2回戦 北科大 負

北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会

男子団体 札幌丘珠 1回戦 苫小牧東 負

【剣道部】

大平原狗鷲旗全道高等学校剣道大会

男子団体 対大麻高校 1回戦敗退

女子団体 対帯南商・名寄合同 1回戦敗退

札幌支部高等学校新人剣道大会

個人男子 田中 蒼空 2回戦敗退

佐藤 忠虎 2回戦敗退

女子 露出 葉々弥 1回戦敗退

団体男子2部 対藻岩高校 1-2 1回戦敗退

女子2部 対札幌西高校 1-1 1回戦勝利

対啓成・藤合同 1-2 2回戦敗退

北海道高等学校新人剣道大会

団体男子2部 予選リーグ

対釧路明理 2-0 勝利

対小樽未来創造・寿都 0-2 敗退

白鷺旗争奪高等学校剣道大会

団体男子 対根室高校 3人残し 勝利

対啓成・札幌・伊達開基 3人残し 勝利

対札幌第一 3人残し 敗退

【吹奏楽部】

北海道アンサンブルコンテスト札幌地区大会

管楽3重奏 銀賞

【茶華道部】

オープンスクールハロウィン茶会

国際交流茶会

【書道部】

高文連全道高等学校書道展(創路大会)

優秀賞 3年 池端 柚明 3年 佐藤 優衣

全道学校書道展

特選 3年 佐藤 優衣

秀作 3年 岩淵 徳乃華 3年 池端 柚明

3年 舟崎 すみれ 1年 岩井川 瑠香

高校生国際選抜書展(書の甲子園)

入選 3年 佐藤 優衣

北海道学生書道展覧会

特選 3年 岩淵 徳乃華 3年 池端 柚明

3年 佐藤 優衣 3年 舟崎 すみれ

1年 岩井川 瑠香

【放送局】

高文連放送コンテスト石狩大会

アナウンス部門 加藤 楓葉 最優秀1位

佐藤 優斗 14位奨励

朗読部門 福岡 奈々 最優秀1位

本間 正悟 10位入選

オーディオメッセージ部門 「日だまりを求めて」

7位入選

ビデオメッセージ部門 「くいしんぼうだから」

4位入選

総合部門 最優秀校1位

高文連放送コンテスト全道大会

アナウンス部門 加藤 楓葉 1位入賞

次年度総文祭進出

朗読部門 福岡 奈々 6位入賞

オーディオメッセージ部門 「日だまりを求めて」

6位入選

ビデオメッセージ部門 「くいしんぼうだから」

8位入選

【家庭クラブ】

北海道高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会

ホームプロジェクト

「母に笑顔を届けたい〜食事を楽しく豊かに〜」

2年 加藤 楓 技能賞

丘珠文化祭参加 消費者被害防止の啓発活動

【写真部】

高文連石狩支部写真展

入選 3年 次木 大翔 「光る惑星」

2年 池田 蓮 「夏」

佳作 3年 赤岡 聖哉 「打球の行方は」

3年 小寛 栄怜 「夏祭り」

高文連全道高等学校写真展

出品 3年 次木 大翔 「光る惑星」

2年 池田 蓮 「夏」

進路指導室から

『今年度の進路活動について』

進路指導部 松本真吉

卒業生ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年度の進路決定状況(令和8年2月1日現在)をご報告いたします。今年度は、国公立大学1名、私立大学80名、短期大学4名、看護系専門学校6名、専門学校95名、公務員3名、民間企業22名がそれぞれ

の道への切符を手にしていきます。1月の大学入学共通テストには18名が挑み、現在も2月からの一般選抜に向けて、最後の粘りを見せている生徒もいます。吉報を心待ちにしています。

近年は「学校推薦型選抜」や「総合型選抜」での受験が主流となっています。これらは学力だけでなく、面接、小論文、プレゼンテーション、口頭試問など、多角的な表現力が求められます。本校での学習活動や探究学習で培った力が、まさに試される入試スタイルです。また、残念なことに、進学後に中

途退学する学生が全国的に増えています。皆さんに大切にしていほしいのは、目的意識と基礎学力です。入学がゴールではありません。将来の展望を明確にし、大学での学びに耐えうる学力を4月までの間に固めておきましょう。

専門学校進学については、学校選びが将来の職業に直結します。オンラインキャンパス等で自分の目で確かめ、納得感を持って選ぶことが大切です。

就職については、企業は学力に加え、生活習慣や協調性、部活動等の経験を重視します。「人手不足」と言われる時代ですが、人気企業ほど高い資質が求められる現実は変わりません。

高校卒業は、ゴールではなく新しい人生のスタートです。自ら選択した道で、充実した新生活を送られることを心より期待しています。

今年度の進路決定状況(合格・内定者実人数)

国公立大学		私立大学	
室蘭工業大学	1	札幌大谷大学	5
		札幌学院大学	13
		札幌国際大学	8
短期大学			
札幌大谷大学短期大学部	2	札幌大学	8
光塩学園短期大学	2	札幌保健医療大学	3
		星槎道都大学	1
専門学校		日本医療大学	4
専門学校	95	藤女子大学	2
看護系専門学校	6	放送大学	1
		北翔大学	2
就職		北星学園大学	8
民間企業	22	北海学園大学	7
公務員	3	北海商科大学	6



*※数字は、令和8年2月1日現在のものです。

令和7年度 後期PTA・後援会活動日誌

- 10月 1日(水) 後期始業式
- 10月 2日(木) PTA視察研修(千歳市16名)
- 10月10日(金) 校内マラソン大会給水活動(36名)
- 10月18日(土) オープンスクール
- 10月21日(月) PTA中間監査
- 10月27日(月) 第2回PTA・後援会役員会・運営委員会(中間反省)
- 12月 6日(土) 見学旅行(沖縄 2年生)~9日(火)
- 12月15日(月) 第1回役員選考委員会
- 12月18日(木) 卒業考査(3年生) ~23日(火)
- 12月24日(水) 冬季休業 ~1月15日(木)
- 1月16日(金) 韓国国際交流 受け入れ(5名) ~20日(火)
- 1・2月 スキー授業
- 2月17日(火) 学校保健委員会
- 2月18日(火) 後期期末考査 ~20日(金)
- 3月 1日(日) 第49回卒業証書授与式「丘珠高だより」発行(第131号)
- 3月16日(月) 第3回PTA・後援会役員会・運営委員会(年度末反省・次年度方針)
- 3月24日(火) 終業式・離任式

編集後記

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この3年間で学んだ事経験した事を自信を持って頑張っただけではないと思います。保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本号の発行にあたりご協力頂きました役員の皆様に感謝申し上げます。

(広報委員長 吉澤昌代)